

3916 デジタル・インフォメーション・テクノロジー

2026年6月期通期決算

デジタル・インフォメーション・
テクノロジー株式会社

16期連続増収増益、過去最高売上

売上高

25,546

百万円

+5.7%

営業利益

3,053

百万円

+1.3%

経常利益

3,076

百万円

+1.6%

当期純利益

2,092

百万円

▲3.9%

今回のポイント

① 16期連続の増収増益を達成

売上高は前期比+5.7%の255億46百万円で過去最高を更新。企業の底堅いIT投資需要を着実に取り込んだ。AI等の成長投資による販管費増を吸収し営業増益を確保。

② 27/6期も増収増益・増配を予想

27/6期は売上高267億円(前期比+4.5%)、営業利益32億円(同+4.8%)を予想。非車載の底堅いDX需要を取り込み17期連続の増収増益を目指す。配当は42.00円/株に増配予定。

③ AI共生モデルを実装フェーズへ

AI活用を前提に事業を再構築し、伴走型AI/DXインテグレーターを目指す。AI駆動開発など4つの重点領域で収益化を加速。FDEで得た顧客ニーズを自社サービス化。

事業概要

情報・通信業

独立系の情報サービス会社。金融・通信等の業務システム開発や車載等の組込み開発の受託が主力。WebARGUS、xoBlos等の自社製品も展開する多面多様のIT企業。

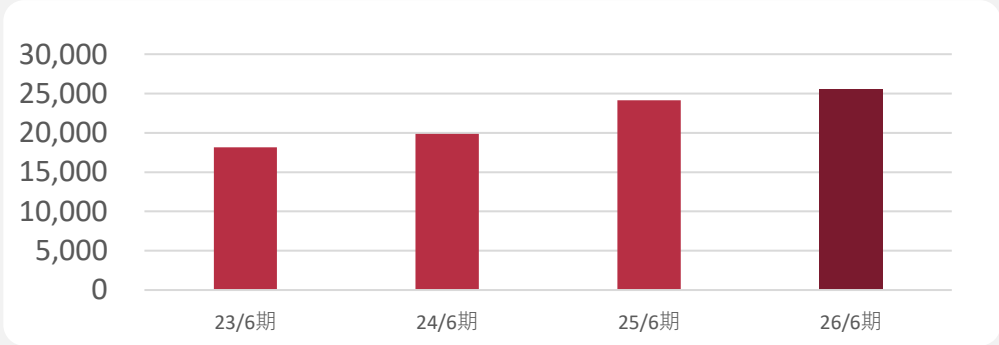
通期業績（前期比較）

単位：百万円

	25/6期	26/6期	増減率
売上高	24,159	25,546	+5.7%
営業利益	3,013	3,053	+1.3%
経常利益	3,027	3,076	+1.6%
当期純利益	2,178	2,092	▲3.9%

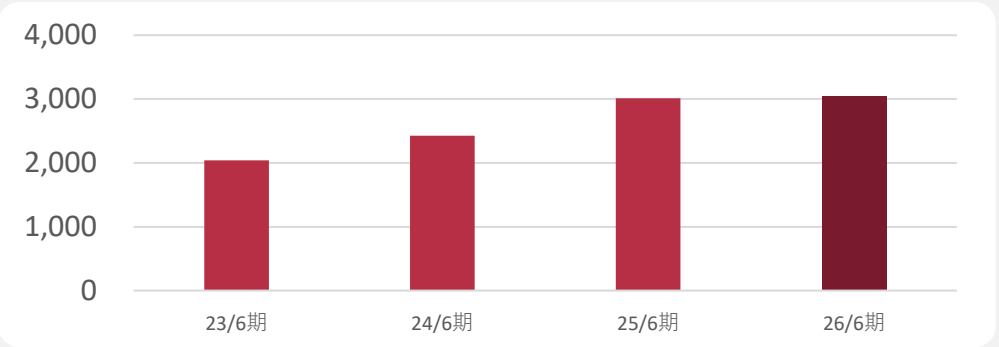
売上高推移（直近4期）

単位：百万円



営業利益推移（直近4期）

単位：百万円



今期業績予想

単位：百万円

	26/6期	27/6期(予)	前期比
売上高	25,546	26,700	+4.5%
営業利益	3,053	3,200	+4.8%
経常利益	3,076	3,200	+4.0%
当期純利益	2,092	2,190	+4.6%

[詳細はこちら](#)

市川社長からのメッセージ

Q：AIの進化を踏まえた今後の事業戦略

AIの急速な進化により汎用的なITスキルへの需要減少が見込まれる中、顧客の業務を深く理解し、AIを活用して課題を解決することが重要と考えています。今後は「AI駆動開発」「データ活用基盤」「品質保証・検証」「セキュリティ技術」の4領域を重点分野とし、伴走型AI/DXインテグレーターとして収益力を強化します。

Q：競争優位性と具体的な取り組み

品質保証・検証では、顧客データを活用した生成AIの検証で75%の効率化を実現しました。その過程で機密情報を保護するデータマスキングへのニーズを把握し、マスキング・復元の自動化システムを製品化しました。顧客先に常駐して直接対話し、潜在的な課題を発見・解決する「FDE」のスタイルを競争優位性としています。

Q：株主・投資家へのメッセージ

AIを前提に事業を再構築し、自社の変化対応力と顧客接点の強みを活かして、低成長からの脱却と成長路線への回帰を目指します。AIによる事業環境の変化を成長機会と捉え、中長期的な企業価値向上につなげていきます。

[詳細はこちら](#)